

地球温暖化を止めるために

宇土小学校 6年 今村 亮輔

近年、地球温暖化が進んでいます。ニュースで前から、地球温暖化について言われているのに、地球温暖化に関係するニュースが減っていません。そこでぼくは地球温暖化について調べました。まず、地球温暖化のえいきょうを調べました。地球温暖化によって起こるえいきょうは、主に五つあります。

一つ目は、洪水や干ばつなどの自然災害の増加です。最近、洪水が増えているのは、地球温暖化によって大雨が増えているからだそうです。また、干ばつは地球温暖化による強い日差しが原因で起きています。

二つ目は、海面上昇です。海面上昇は、地球温暖化で気温が上がり、氷河がとけることで水となり、海に流れ出ることによって海水が増えることが原因です。この海面上昇でツバルやキリギスなどの島国などは、しずんでしまうと言われています。

三つ目は、生態系への影響です。生態系への影響とは、生物種の絶滅などです。今から二億年前は、千年間で一種しか、絶滅していませんでした。しかし、二〇〇～三〇〇年前には、四年間に一種、百年前には、一年間に一種、一九七五年には、一年間に千種と、年々絶滅する種類の数とひん度が多くなっています。今では、一年間になんと**四万種**も絶滅しているそうです。

四つ目は、食料生産への影響です。最初に説明した、干ばつや、高温によって、農

作物などの生育が悪化し、収穫量が減少しているそうです。

五つ目は、健康リスクの増加です。地球温暖化の影響で、一年間の平均気温が上がったことにより、熱中症のリスクが高まっています。

もし、このまま何もしないでいくとどうなってしまうのでしょうか。なんと、二〇五〇年の東京の平均気温は四十度になると予想されています。また、最高気温**四十五度**の日がでてもおかしくないと言われています。それにより、日本から春夏秋冬の「四季」がなくなってしまうかもしれません。しかし、今まで言った事は、すべてずっと前から言われていることです。では、なぜ今、止まるどころか、どんどん深刻化しているのでしょうか。その理由について考えたことが二つあります。

一つ目は、どんなことをすればいいのかわからず実行していないということです。

二つ目は、みんな「他の人がやっているから、自分は何もしないでいい」と、人任せにしているということです。

では、どうすれば地球温暖化を止めることができるのでしょうか。大切なのは、今、自分にどんなことができるかを調べる、考えるということです。例えば、近場は徒歩や自転車で行く、冷ぼうの温度を適切にするなどのことができます。次に大切なことは、友人や家族などの人にそのことを広めて、全員で実行するということです。どんなに小さなことでも、その行動一つで、温暖化を止めることができるかもしれません。

わたし達が自分のできることを考え、みんなで実行することが、地球温暖化を止めることにつながるのではないのでしょうか。

ぼくは、これから近場は、徒歩や自転車で移動したり、地球温暖化のことをみんなに伝えたりしたいです。